



# 島崎藤村生誕一五〇年

## 記念映像

堂々完成!

# 学内での先行上映決定!!

## 学内での先行上映日

2022年11月26日(土)

会場 2号館 2401教室

開場 12:30

上映時間 第1回上映 13:30~

第2回上映 14:30~

入場無料

明治学院同窓会は、島崎藤村生誕一五〇年を記念し「明治学院校歌」をキーワードとした映像を、明治学院大学シネマ研究会とのコラボで制作いたしました。

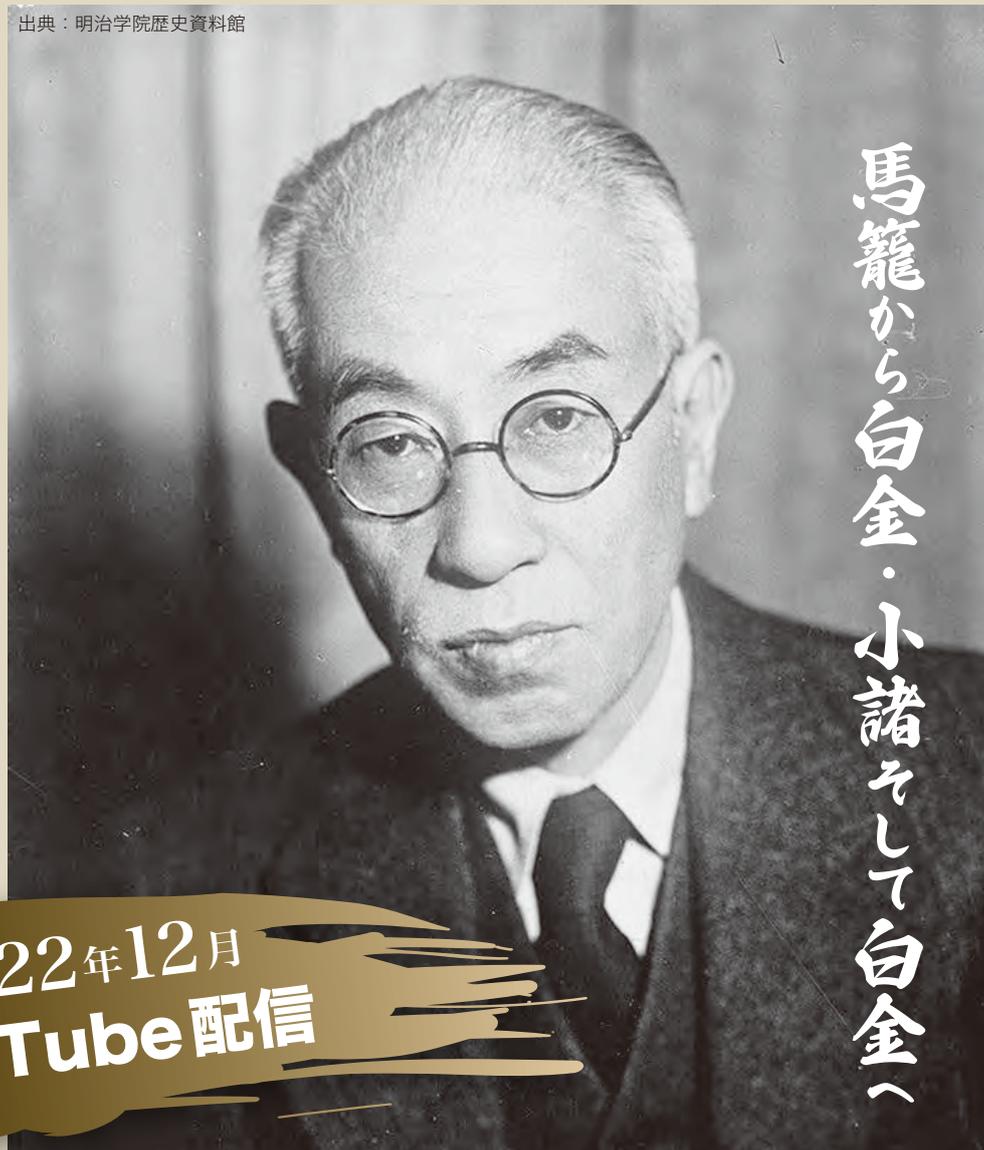
木曾の馬籠に生まれ、9才で上京。16歳で明治学院普通学部本科(現在の明治学院大学)に入学、その後長野県小諸の小諸義塾に教師として赴任し、やがて東京に戻って明治学院の校歌を作詞するまでの半生をたどりま

馬籠から白金・小諸  
そして白金へ

# 島崎藤村生誕一五〇年

馬籠から白金・小諸そして白金へ

出典：明治学院歴史資料館



2022年12月  
YouTube 配信

今年、島崎藤村生誕一五〇年にあたります。藤村は明治五年（一八七二年）、木曾の馬籠に生まれました。明治一四年、九才のときに上京し泰明小学校に入学。明治二〇年に明治学院普通学部本科（現在の明治学院大学）に入学し、在学中に恩師の木村熊二によって洗礼を受けました。

藤村の若き日を、自伝的小説「桜の実の熟する時」にうかがうことができます。

明治三二年、長野県小諸町の小諸義塾に国語と英語の教師として赴任し結婚。翌年に長女、明治三五年に次女、同三七年に三女が生まれます。

明治三八年、小諸義塾を退職し上京。翌年、藤村の二年先輩で、明治学院の教諭兼同窓会の事務を受け持っていた宮地謙吉先生が、井深梶之助総理（現在の学院院长に相当）の意向を受けて藤村に校歌の作詞を依頼しました。この時期藤村は、上京からわずか一年ほどの間に三人の娘を相次いで亡くし、明治四三年には妻も失うという不運に見舞われました。藤村は、こうした逆境の中でこの学院校歌を作詞したのです。

学院校歌には、学校名も「神」や「キリスト」の字もありませんが、聖書の言葉がさりげなく込められています。藤村は将来ある学生・青年に対して、新しい時代に希望をもって、一人一人がその道を切り開いて欲しいというメッセージを込め、強く願ったのです。

今回同窓会は、明治学院大学シネマ研究会とのコラボで、馬籠・小諸の藤村記念館を取材、明治学院歴史資料館の協力もいただき、校歌が作詞されるまでの功績をたどり、映像でみなさまにお伝えすることにいたしました。二〇二二年一二月にYouTubeで配信いたします。

企画：明治学院同窓会 制作：明治学院大学シネマ研究会

協力：小諸 藤村記念館・馬籠 藤村記念館・明治学院歴史資料館・明治学院大学グリークラブ

明治学院同窓会事務局 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 TEL 03-5421-5190 FAX 03-3441-0970

（事務取扱時間 9:00～16:00） メール：meijigakuin@meijigakuin-dosokai.jp | <http://meigaku-dosokai.jp>

